

第117回

火山噴火予知連絡会資料

2010年10月13日

東北大学大学院理学研究科

2009年秋から2010年春にかけて
一時的な変動が観測された。

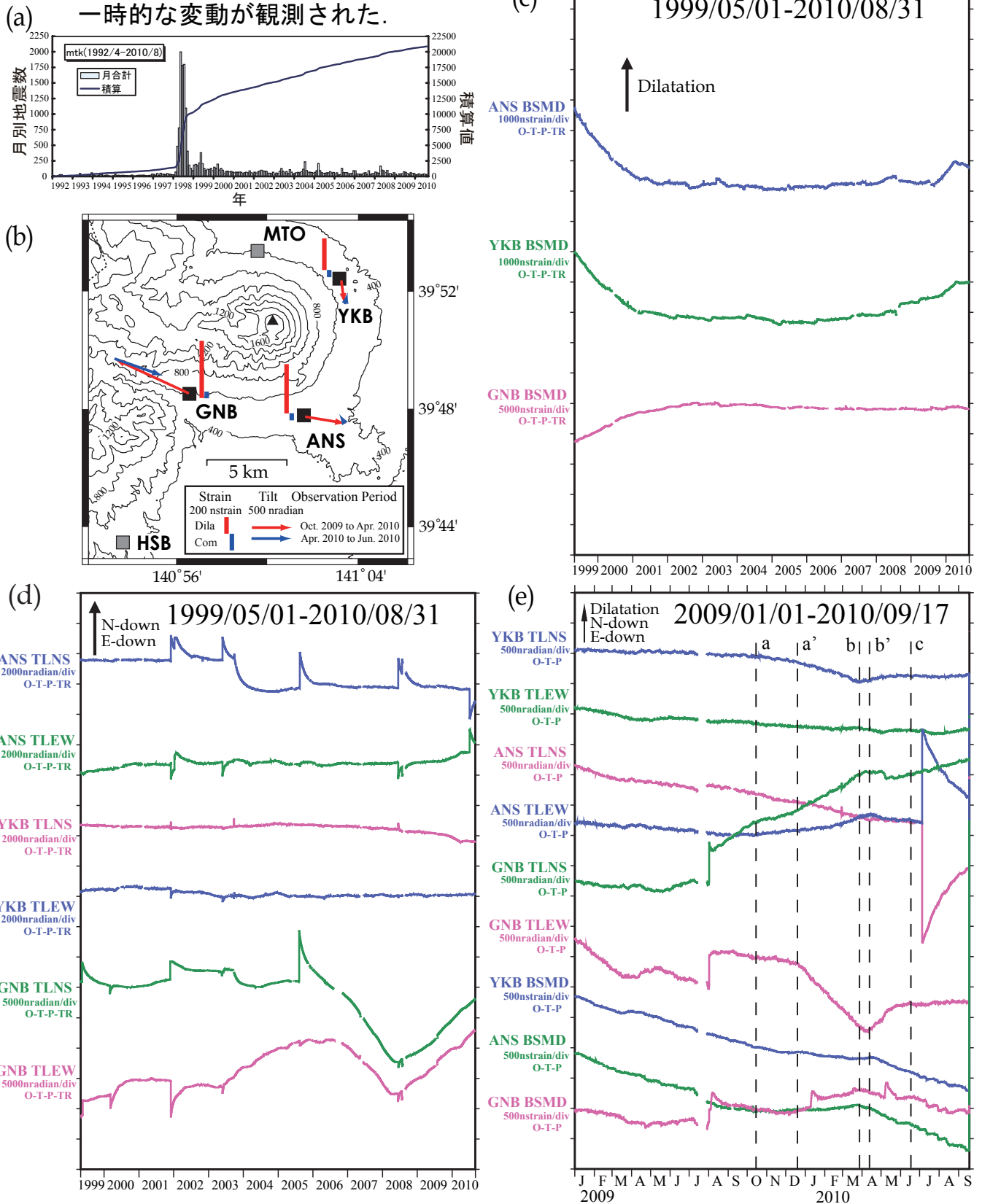


図 1. 岩手山周辺における歪・傾斜変動連続記録。(a) 月別地震数の変化 (1992年4月～2010年8月), (b) 観測点配置ならびに2009-2010年に観測された歪と傾斜の変動, (c) 1999年5月～2010年8月における歪変動, (d) 傾斜変動, (e) 2009年1月1日～2010年9月17日の歪・傾斜変動. 破線a, b, c は図 (b) に示す変動の計測期間を示す (YKB:a-b, b-c, YKB:a-b', b'-c, GNB:a-b, b-c). BSMD: 体積歪, TLNS: 傾斜南北成分, TLEW: 傾斜東西成分. (c), (d) は潮汐・気圧・トレンド補正済. (e) は潮汐・気圧のみ補正済. トビをともなう変動は有感地震の影響あるいは降水の影響. 地形図の作成には国土地理院発行の数値地図を使用した.

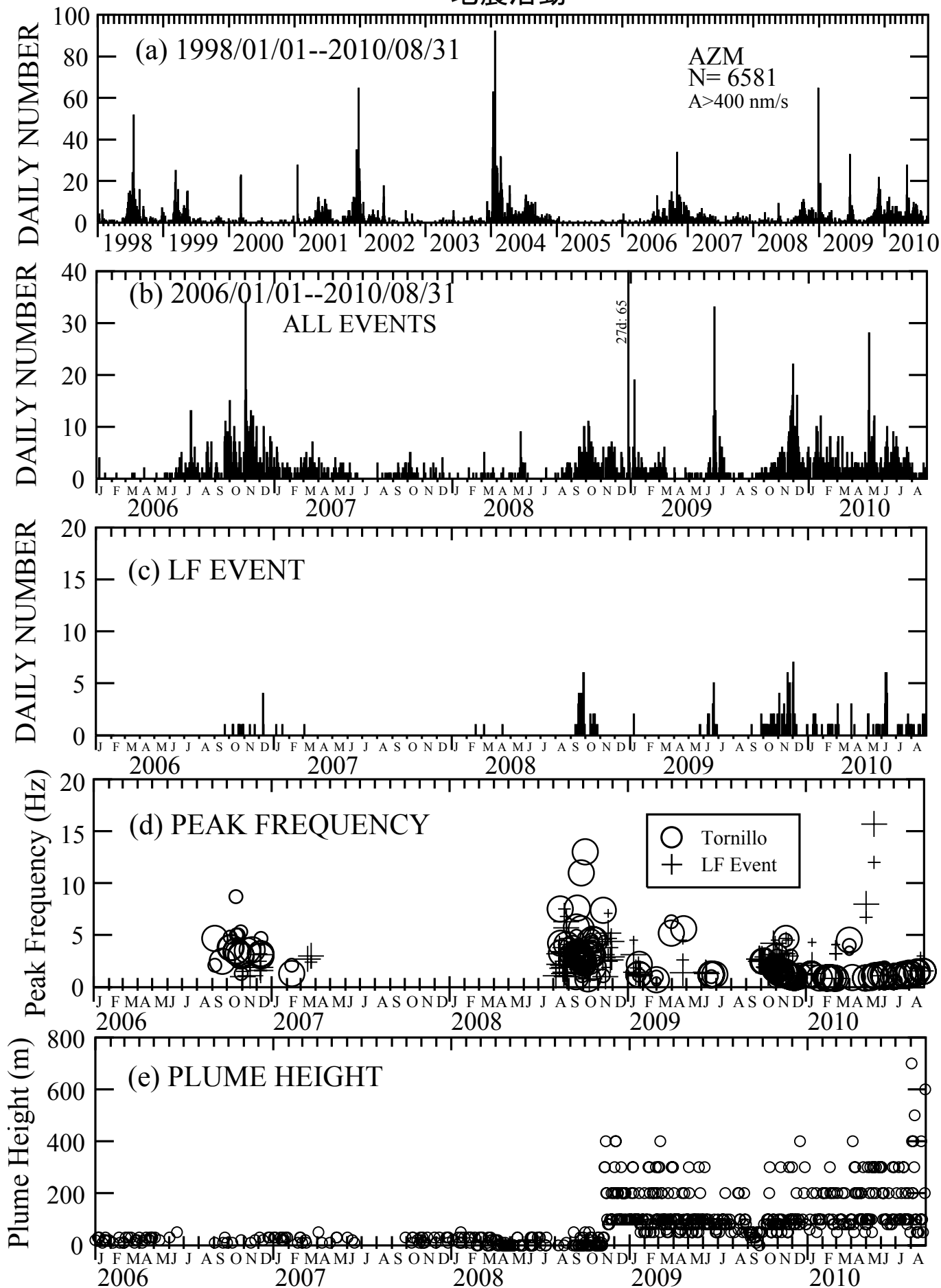


図 1. 吾妻火山地域における群発地震活動(a)～(d)と噴気活動(e). (a) 1998年1月～2010年8月, (b) 2006年1月1日～2010年8月31日の活動推移. (c) その中の低周波地震活動, (d) 低周波地震の卓越周波数, (e) 日別最高噴気高の時間変化(仙台管区気象台による). 2008年新噴気出現の前に多様な卓越周波数の地震が発生した.

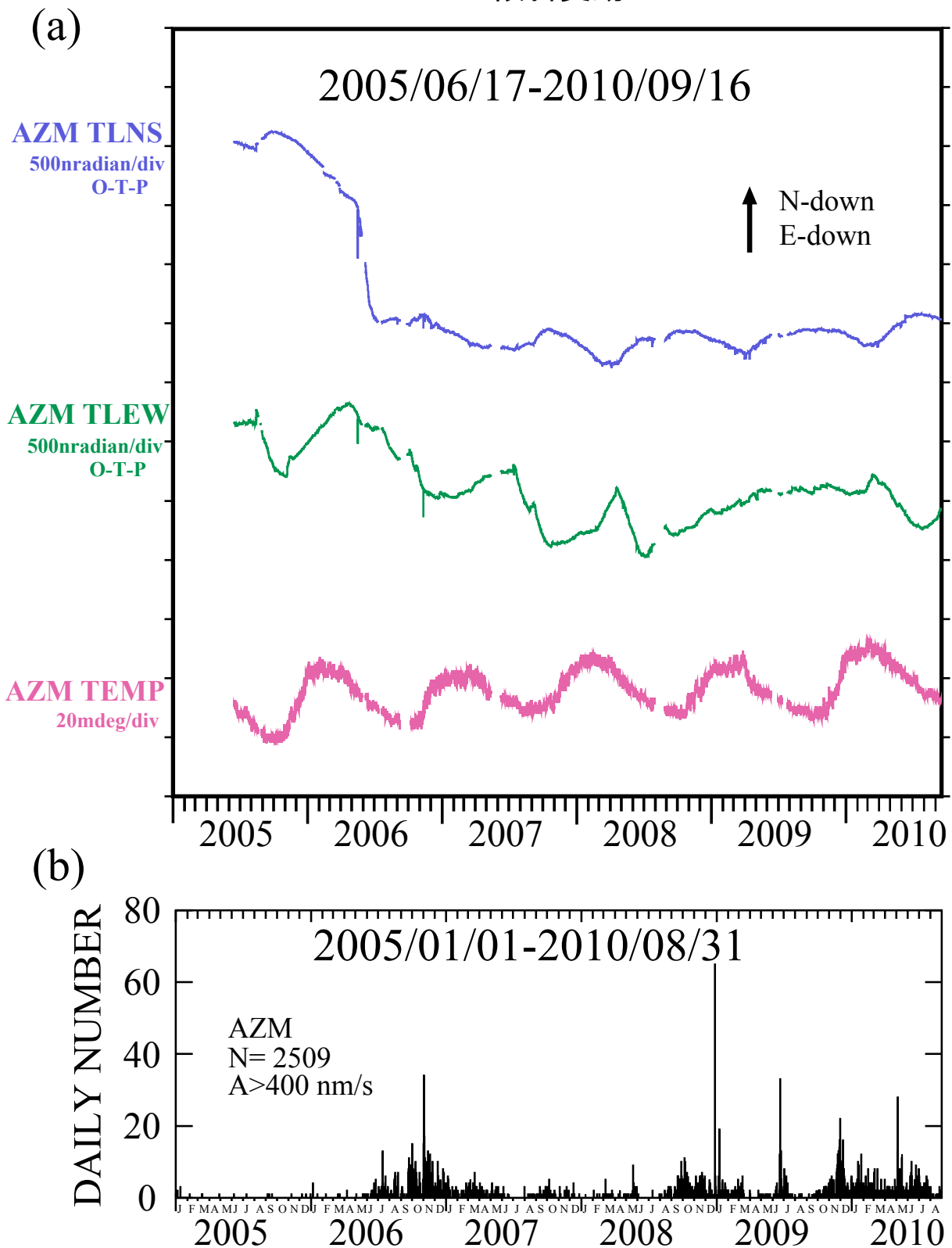


図2. (a) 吾妻火山観測点 (AZM : 一切経山のN80° W, 約5km) における傾斜変動(2005年6月17日~2010年9月16日), ならびに, (b) 吾妻火山地域に発生した地震の日別頻度(2005年1月1日~2010年8月31日). TLNS, TLEWは, それぞれ, 地球潮汐と気圧応答を補正済みの傾斜変動NS成分, EW成分. 毎年夏前後に観測される西下がりの季節変動が, 2009年には認められない. 火山活動に関連した変動が存在した可能性がある.